



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

WORLD UNDERSTANDING AND PEACE THROUGH ROTARY

“ロータリーを通じて、世界理解と平和を”

1981-82 R.I 会長 スタンレーE、マックヤブリー

第 159 回 例会 56 年 6 月 20 日 第 165 号

伊藤会長テーマ 身近かな奉仕に誠を尽そう

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
41名	28名	68.53%	

欠席者

合田、細野、石渡、亀谷、国方、中西、佐藤、鈴木、高橋、竹本、寺田、富沢、保田

司会 SAA

本日のプログラム 家族会、新戸キャンプ場

次週予定 世界社会奉仕について
ガバナーノミニ 加藤定兵衛氏

〈ゲ ス ト〉

敬称省略

有沢阿津子、藤田アサ、古木磯子・邦明、大森いずみ・春樹、阿部恵美子(布施会員)二見のり子・長安、きみ子、西浦しず・あや・ゆき、後藤真希乃・裕毅、郡司禎子、山崎緑・美紀(猪熊会員)伊藤克枝、伊藤屋子・のり子・みき子・ゆういち・りょう、伊藤仁子、北砂安子、近藤道子、松本千枝子・えみ子、三浦かづ子、竹之内孝子・マイ子、土屋ゆき子・大輔・英輔・美津子、辻小百合、松本洋剛 以上ご家族等の皆様です。

上げました通りよろしくお願い致します。

なお、次週の例会は、振替ではありませんので平常通り例会がありますのでご出席下さい。

〈委員会報告〉

親睦委員長 伊藤英夫

本日は皆さんに大変有難うございます。これからの日程を申し上げます。

- ① 10時半より“ニジマス”のつかみ取りを行います。
- ② 12時30分より例会がありますので、この位置にお集り下さい。
- ③ その後つかみ取った“ニジマス”でバーベキューを行います。その他、肉、野菜、おにぎり、飲物をたくさん用意しておりますので、出来るだけセルフサービスでお願い致します。尚、車で運転されて来た方はアルコール類は厳禁としておりますのでご協力下さい。

〈会長報告〉

会長 伊藤正男

本日の家族会には多数の方々をご参加下さりまして有難うございます。又親睦委員会の皆様方は早朝より準備にご活躍され盛大な家族会が出来ます事は誠に有難く厚くお礼申し上げます。皆様、今日は一日楽しくご家族共々この自然を満喫され、より一層の親睦を計れんことをお願い申し上げます。挨拶といたします。

〈幹事報告〉

幹事 辻 国明

皆さん本日は大変ご苦勞様です。今、会長が申

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央1-5-40
大和市商工会館内

☎ 0462-63-7926

例会場：大和市大和南1-4-4

八千代信用金庫大和支店4階

☎ 0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より

会長：伊藤正男

副会長：寺田伍六

幹事：辻国明

会報委員：古木・大高・合田・松本(三)

ロータリー情報

委員長 蜂屋良平

先般、用事があって東林間に参りました。駅で小田急沿線新聞を渡され、一寸読んでみましたら「ロータリークラブ便り」が出ておりました。ご参考迄に。

日本のロータリー

日本のロータリークラブは、1920年（大正9年）10月に東京に設立されたのが始まりで世界で858番目のクラブでした。その後大阪、神戸、名古屋と次々に設立され、昭和15年には、48クラブ、2000名の会員を数えるまでになりました。ところが太平洋戦争直前の昭和15年には、国際団体に対する圧迫がロータリーにも及び逆に日本のロータリーは、国際ロータリーから脱退しなければならなくなりました。然し、戦時下にあってもその精神と組織は失われず、例会は続けられ、戦後の平和回復と共に国際復帰を目ざす努力が実って1949年（昭和24年）3月東京、大阪をはじめ7クラブが国際ロータリー復帰が認められました。

以来目ざましい進展を続け北は稚内、南は沖縄方面まで実にクラブ数約1500、会員数約83000名に及び、現在なお日本のすべての町にクラブができる様に努力を続けております。

これは会員がすべて住みよい世の中を目ざしてロータリーの奉仕の理想をひろめようとの強い願いのあらわれたほかなりません。

ロータリーでは、社会生活における成功と幸福は他人に対する思いやりと、他人を助けることにあるとして、各自の職業を通じての「奉仕の理想」を目的としており、そのためには、

- ① 広く知り合いを求めて奉仕の機械を多く持つ
- ② 各自の職業に誇りを持ってその道徳的基準を高める。
- ③ 公私の別なく奉仕の理想を実行すること
- ④ 理解と友情を国際的にも広く深める

という4つの道をかかげております。

従ってクラブには、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4部門があり、国際間の留学生交換、児童や青少年の保護養成・身体障害者、天災飢饉に悩む人々、あるいはその他各種の一般社会施設等への援助を行い、また自分や他人との職業上の相互関係を円満にして、共存共栄を促進させる努力を続けております。

ロータリーとはこういう集いなのです。

（東京西北ロータリークラブ広報委員会が投稿していたものです。）

